

新市庁舎など主な公共施設の整備状況について

1 新市庁舎整備事業

新市庁舎整備については、平成 28 年第 1 回 市会定例会において「市第 213 号 議案 横浜市 市庁舎移転新築工事 請負契約の締結」が可決され、基本設計・実施設計作業を進めてまいりました。

29 年 8 月には、本体工事に着手いたしますので、これまでの設計の基本的内容についてご報告いたします。

資料 1	P1	: 建築概要
資料 1	P2	: 動線計画及び建物配置計画
資料 1	P3~P10	: 平面図等
資料 1	P11	: 外構計画・遺構計画
資料 1	P12	: 立面図
資料 1	P13	: 環境技術（省エネ計画）
資料 1	P14	: BCP 対策
資料 1	P15	: 供用開始までのスケジュール

2 その他の主な公共施設の整備状況

資料 2

①計画地

横浜市中区本町6丁目50番地の10ほか(北仲通南地区)
 ※「市の事務所の位置に関する条例」に基づき、別途規則で定める日から供用開始します。

②規模

敷地面積 約13,160㎡
 延床面積 約143,450㎡
 建物高さ 約155m
 階数 地下2階/地上32階/塔屋2階
 ※執務室は31階まで、32階は電気室、機械室

③構造概要

構造種別 鉄骨造(コンクリート充填鋼管造)等
 構造方法 中間層免震構造+制振構造
 基礎 杭基礎(一部直接基礎)
 ※全杭位置で実施した地盤データを基本設計に反映

④屋上ヘリポート

緊急離着陸場 大型ヘリコプターに対応(ヘリポート床面24m×20m)
 (場外離着陸場の許可基準を満たす。)

⑤駐車台数

約400台 内訳 1F:約10台、地下1F:約180台、地下2F:約210台

⑥昇降機設備

<エレベータ>

市民利用・商業 (地下2F~3F)×2台、(地下2F~2F)×1台、(地下2F~1F)×1台
 議会部分 (地下2F~8F)×2台(内、非常用1台)、(3F~8F)×2台
 行政部分 (低層用:3F~11F~18F
 中層用:3F・11F・18F~25F
 高層用:3F・11F・18F・25F~31F) ×各8台 計 24台
 業務用 (地下2F~31F)×3台(内、非常用2台)、(地下2F~32F)×1台

<エスカレータ>

市民利用・商業 地下2F~地下1F 1か所(2台)
 地下1F~ 1F 1か所(2台)
 1F~ 2F 2か所(4台)
 2F~ 3F 2か所(4台) 計 12台

⑦電気設備

受変電設備 22kV 3回線スポットネットワーク受電方式
 非常用発電設備 ガスタービン発電機4000kVA(2000KVA×2台)
 7日間運転可能な燃料タンク(軽油)
 太陽光発電設備 100kW 想定年間発電電力量 約10万kWh
 (一般家庭の約30世帯分)
 水素燃料電池設備 200kW 想定年間発電電力量 約120万kWh
 (一般家庭の約400世帯分)

⑧空調衛生設備

熱源設備 地域冷暖房より供給
 空調設備 高層部基準階:天井輻射空調+湿度調整型の空調機
 中・低層部:天井吹出空調方式
 アトリウム:床輻射方式+床吹出空調方式
 給水設備 受水槽+加圧給水方式、高架水槽
 下水再生水利用(トイレ洗浄水)
 ガス設備 中圧ガス引込



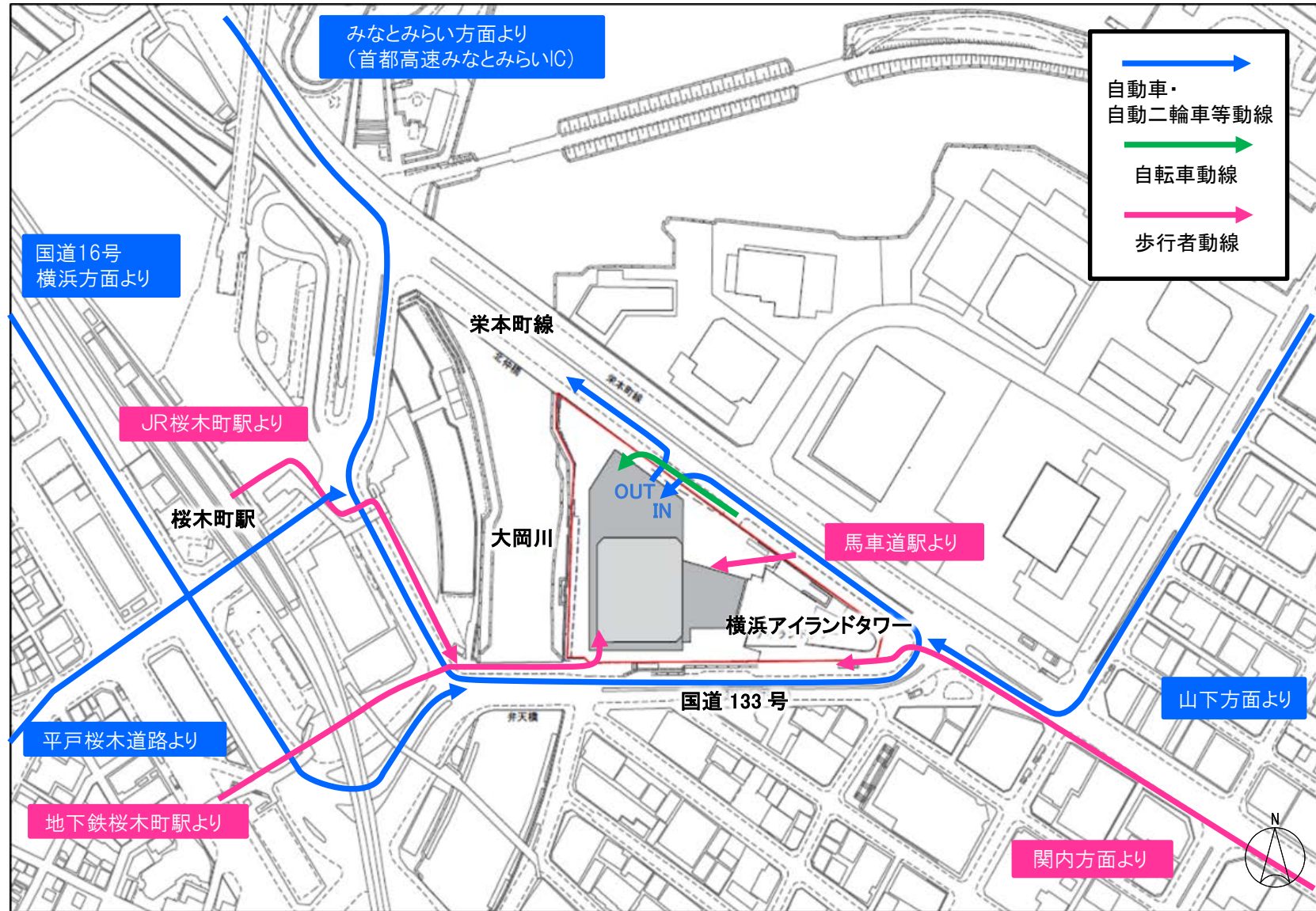
北仲橋方面からの外観



辨天橋方面からの外観

① 動線計画

公共交通機関からの歩行者及び各方面からの車等の動線に合わせて出入口を設置

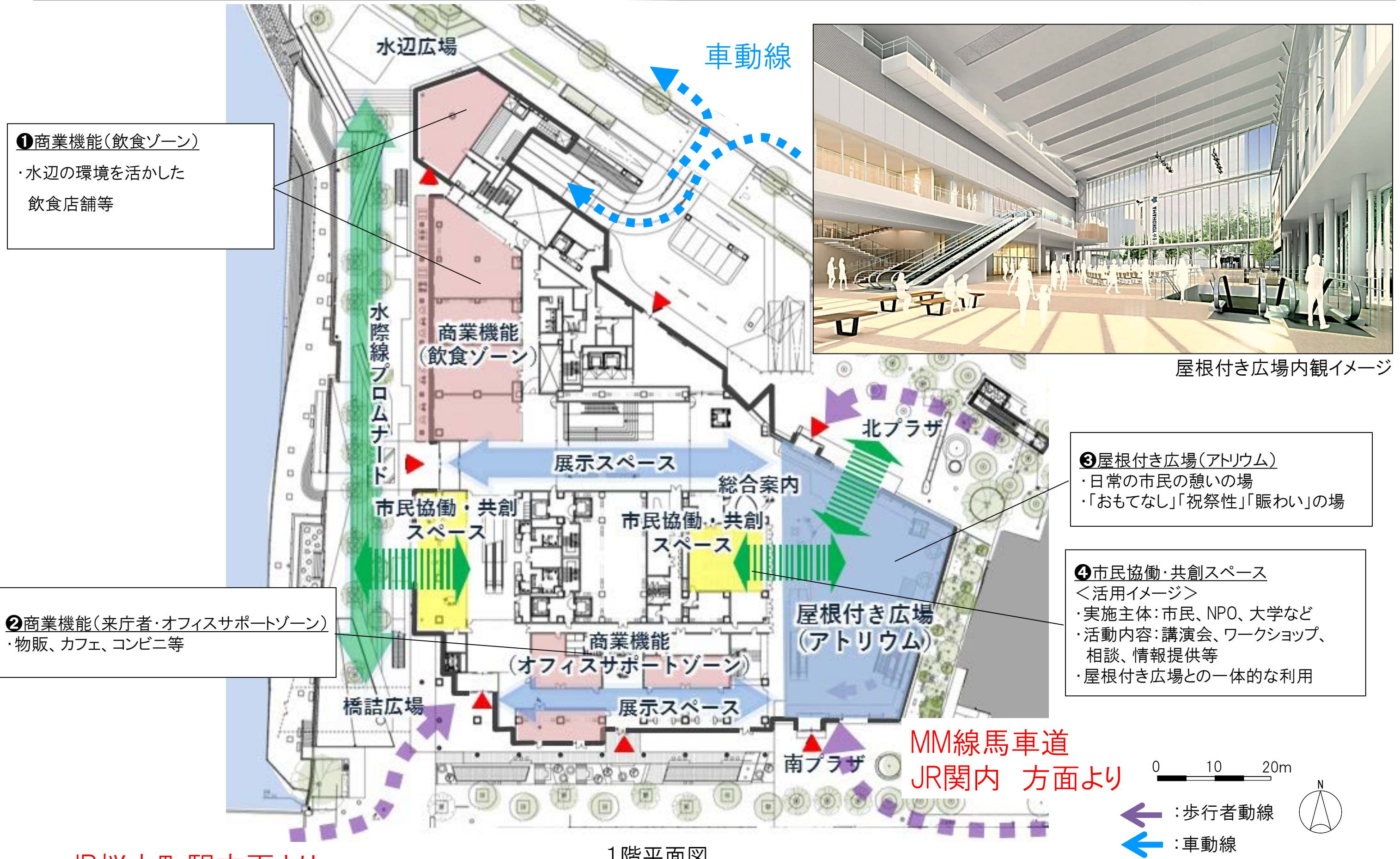


② 建物配置計画

- ・行政部分は高層部に配置
- ・議場部分は高層部から独立した北側に配置
- ・屋根付き広場は高層部と隣接する横浜アイランドタワーとの間に配置



平面図(低層部:1階)



①商業機能(飲食ゾーン)

・水辺の環境を活かした
飲食店舗等

②商業機能(来庁者・オフィスサポートゾーン)

・物販、カフェ、コンビニ等

③屋根付き広場(アトリウム)

・日常の市民の憩いの場
・「おもてなし」「祝祭性」「賑わい」の場

④市民協働・共創スペース

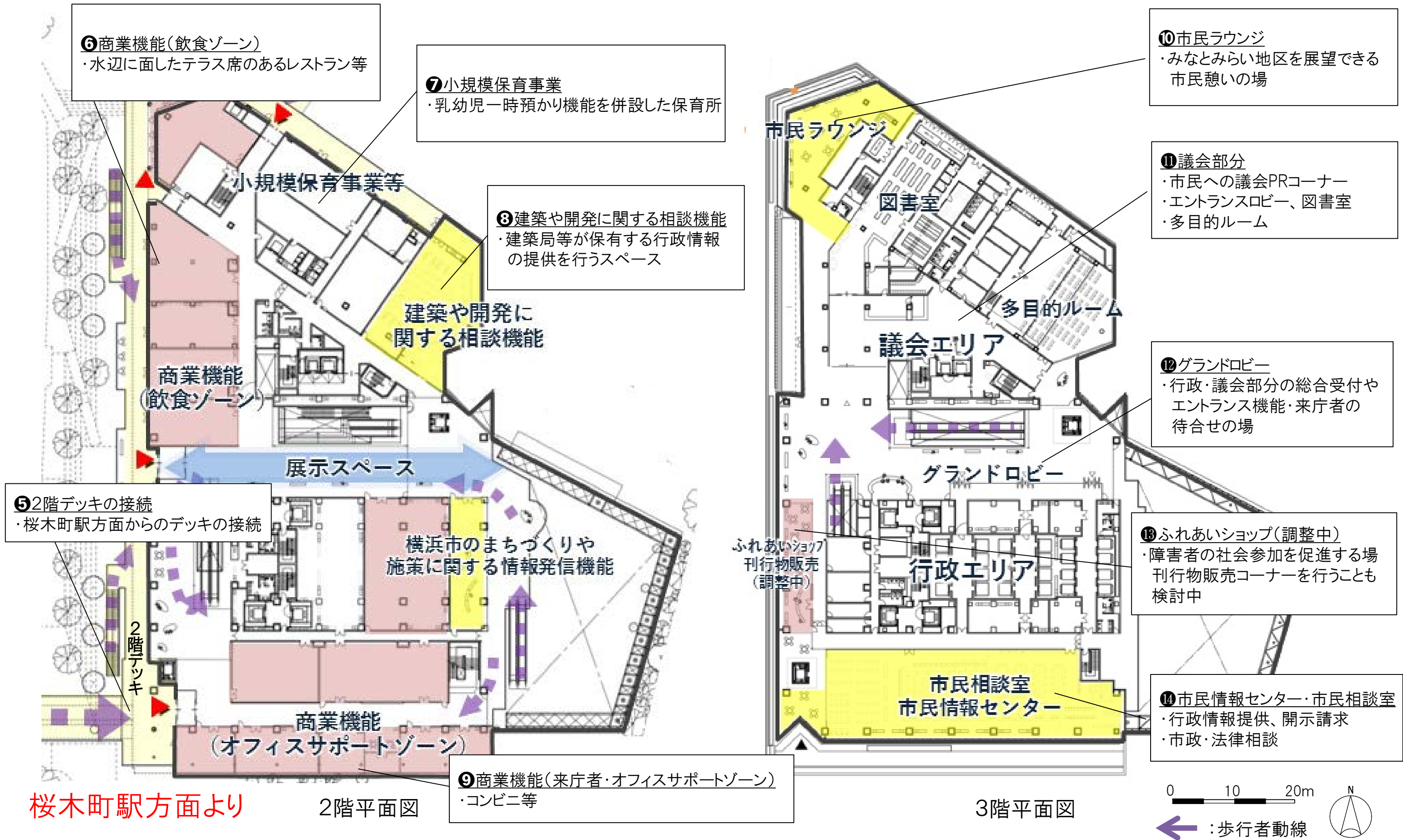
<活用イメージ>
・実施主体:市民、NPO、大学など
・活動内容:講演会、ワークショップ、
相談、情報提供等
・屋根付き広場との一体的な利用

JR桜木町駅方面より

1階平面図

※具体的な配置については、引き続き調整していきます。

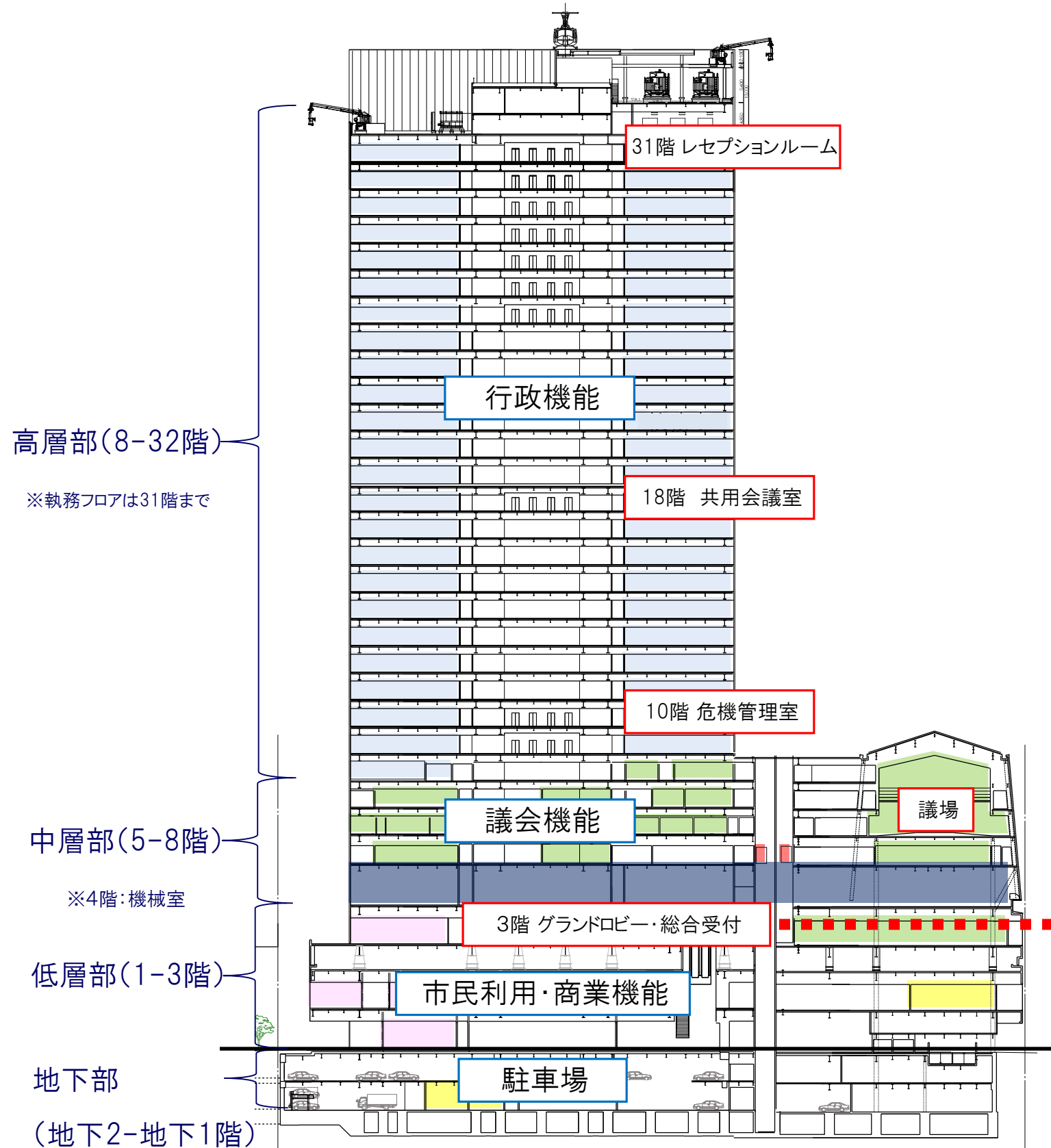
平面図(低層部:2、3階)



桜木町駅方面より

※具体的な配置については、引き続き調整していきます。

①フロア構成



※行政機能の具体的な配置については、引き続き調整していきます。

②来庁者訪問の流れ(イメージ)

エレベーター／対応

- ・ゲート通過後、来庁者はエレベーターで目的階まで進みます。
- ・非窓口／窓口フロアでそれぞれ対応を受けます。



非窓口フロア(待合スペース)



窓口フロア(窓口カウンター)



3階グランドロビー(受付)

- ・来庁者は、訪問先の部署や目的とする行政サービスの内容を告げて、ゲストカードの貸与を受けます。(※不測の事態に備える必要がある場合を除き、記名は求めません。)



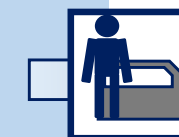
受付イメージ(高崎市役所)



ゲストカード

3階セキュリティゲート

- ・来庁者は受付で貸与されたゲストカードをゲートにかざし通過します。



セキュリティゲート(横浜第二合同庁舎)



ICカード認証による入退館管理

※写真等はイメージです。

平面図(高層部:基準階(非窓口フロア))

① デスク配置エリア

- ・オープンフロア・ユニバーサルレイアウトを導入
- ・高い開放性、可変性、柔軟性を備えた執務空間



② コミュニケーションエリア

- ・ミーティングスペース、ロッカー室、コピーコーナーなどのフロア全体で利用する共用機能を集約



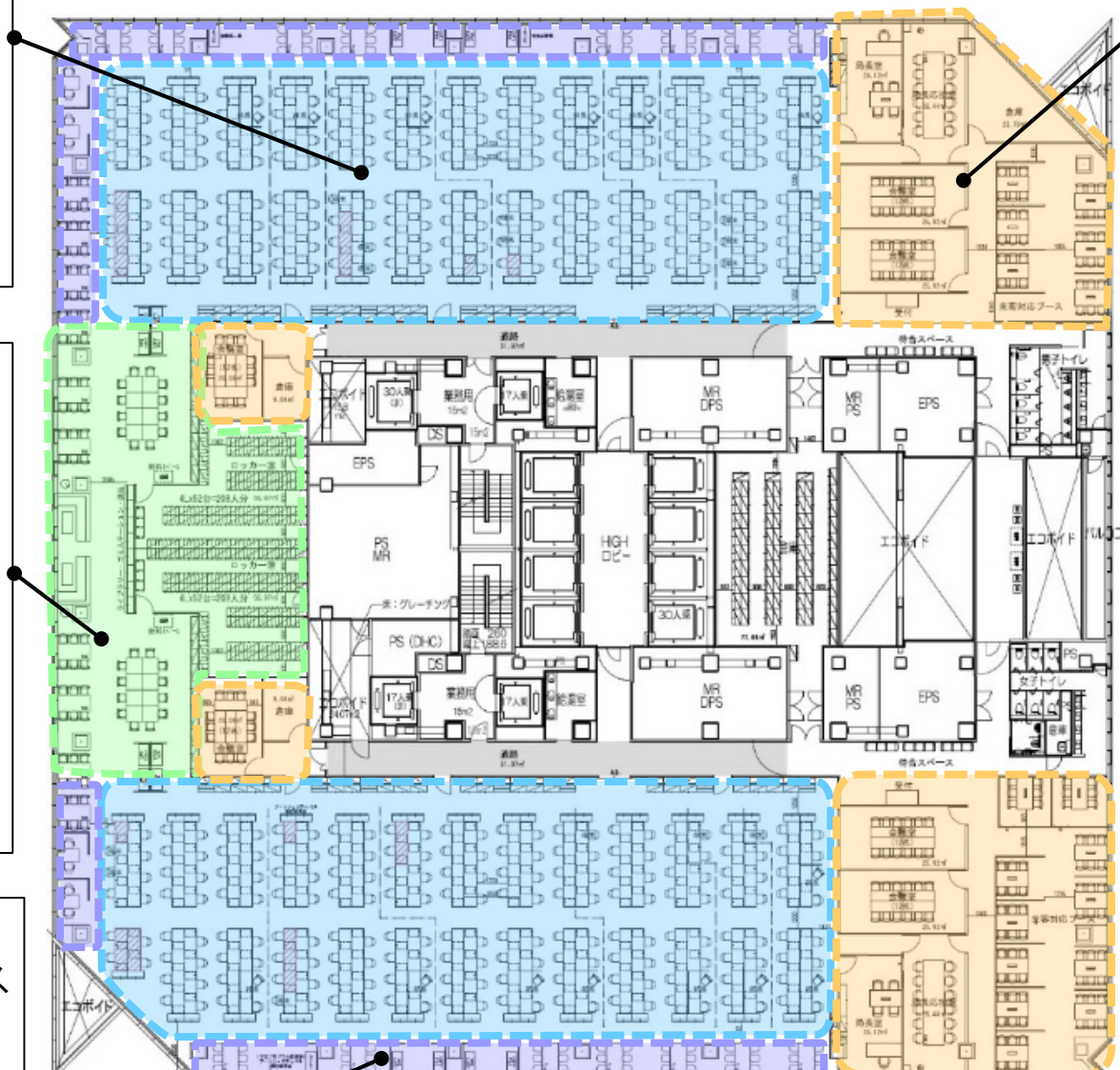
③ 執務補助エリア

- ・職員が日常的に使用する共用ミーティングスペース



④ 個別活用エリア

- ・受付、応接・相談ブース、会議室等を配置
- ・プライバシーに配慮した落ち着いた環境の来庁者対応スペース



基準階(非窓口フロア)

※詳細なレイアウトについては、引き続き調整していきます。

※写真等はイメージです。

平面図(高層部:基準階(窓口フロア))

① デスク配置エリア

- ・オープンフロア・ユニバーサルレイアウトを導入
- ・高い開放性、可変性、柔軟性を備えた執務空間



② コミュニケーションエリア

- ・ミーティングスペース、ロッカー室、コピーコーナーなどのフロア全体で利用する共用機能を集約



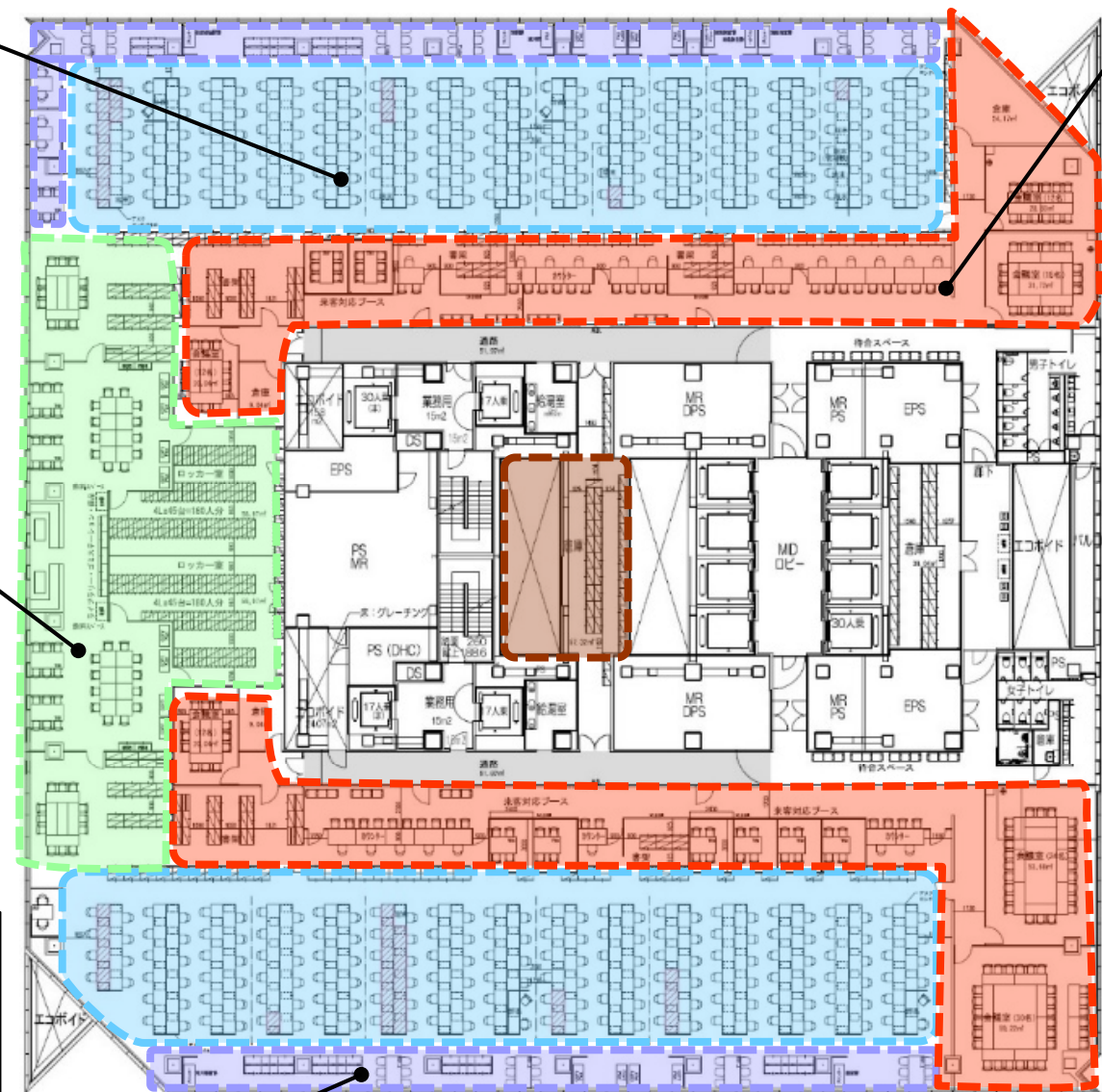
③ 執務補助エリア

- ・職員が日常的に使用する共用ミーティングスペース



④ 来客対応エリア

- ・窓口カウンターを基本としながら、来庁者対応を行う際に必要な機能を状況に応じて配置



基準階(窓口フロア)

※詳細なレイアウトについては、引き続き調整していきます。

※写真等はイメージです。

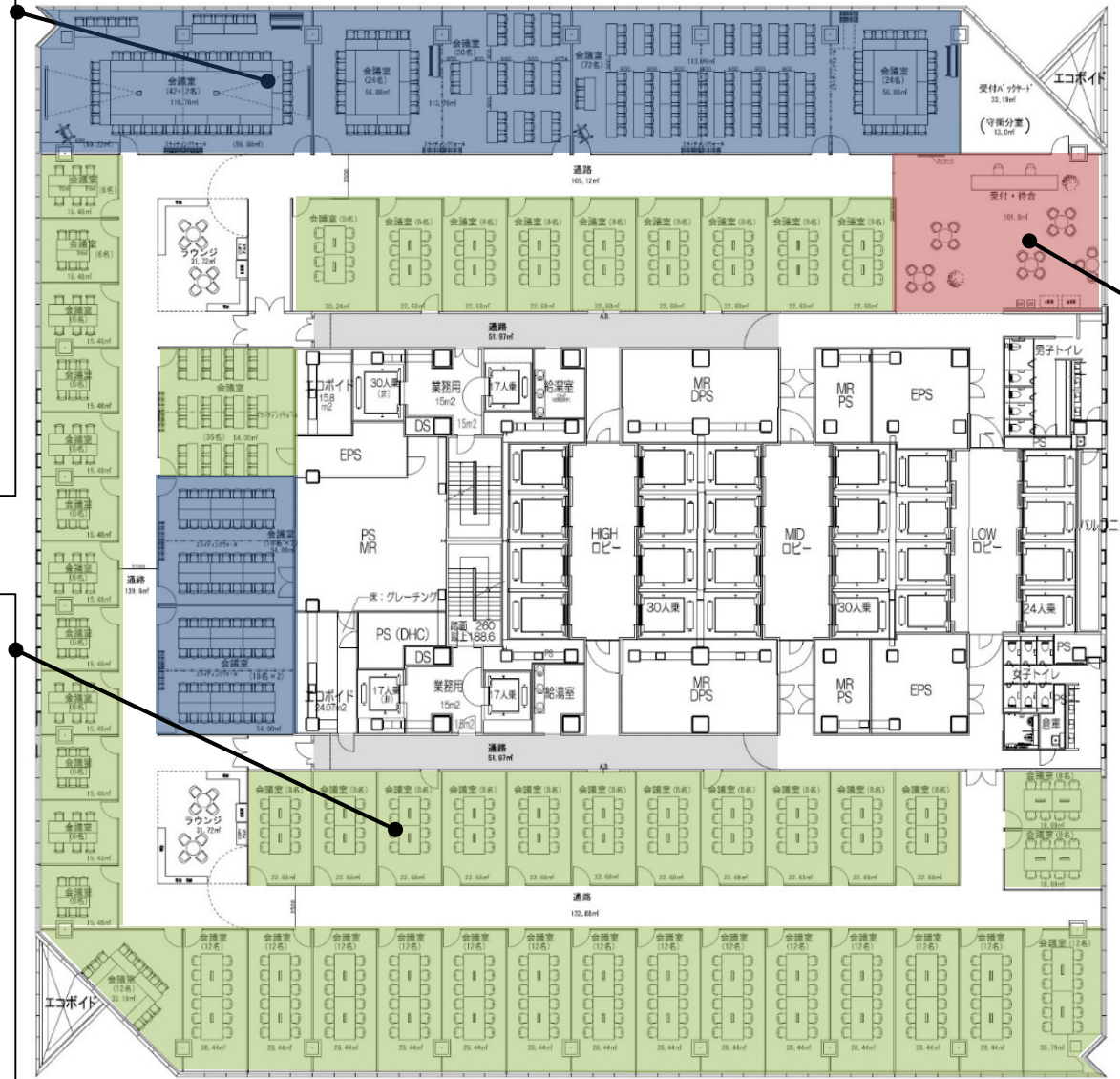
①大規模会議室

・大人数(24~50人程度)が利用できる会議室
 会議室をつなげ、デスク配置を工夫することで、
 収容人数の拡大が可能

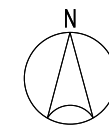


②小・中規模会議室

・様々な人数(6~12人程度)で利用できる
 会議室を設置



0 10 20m



共用会議室フロア(18階)

③待合スペース

・来庁者がエレベーターホールから直接訪れる
 ことができ、職員が最初に対応するスペース

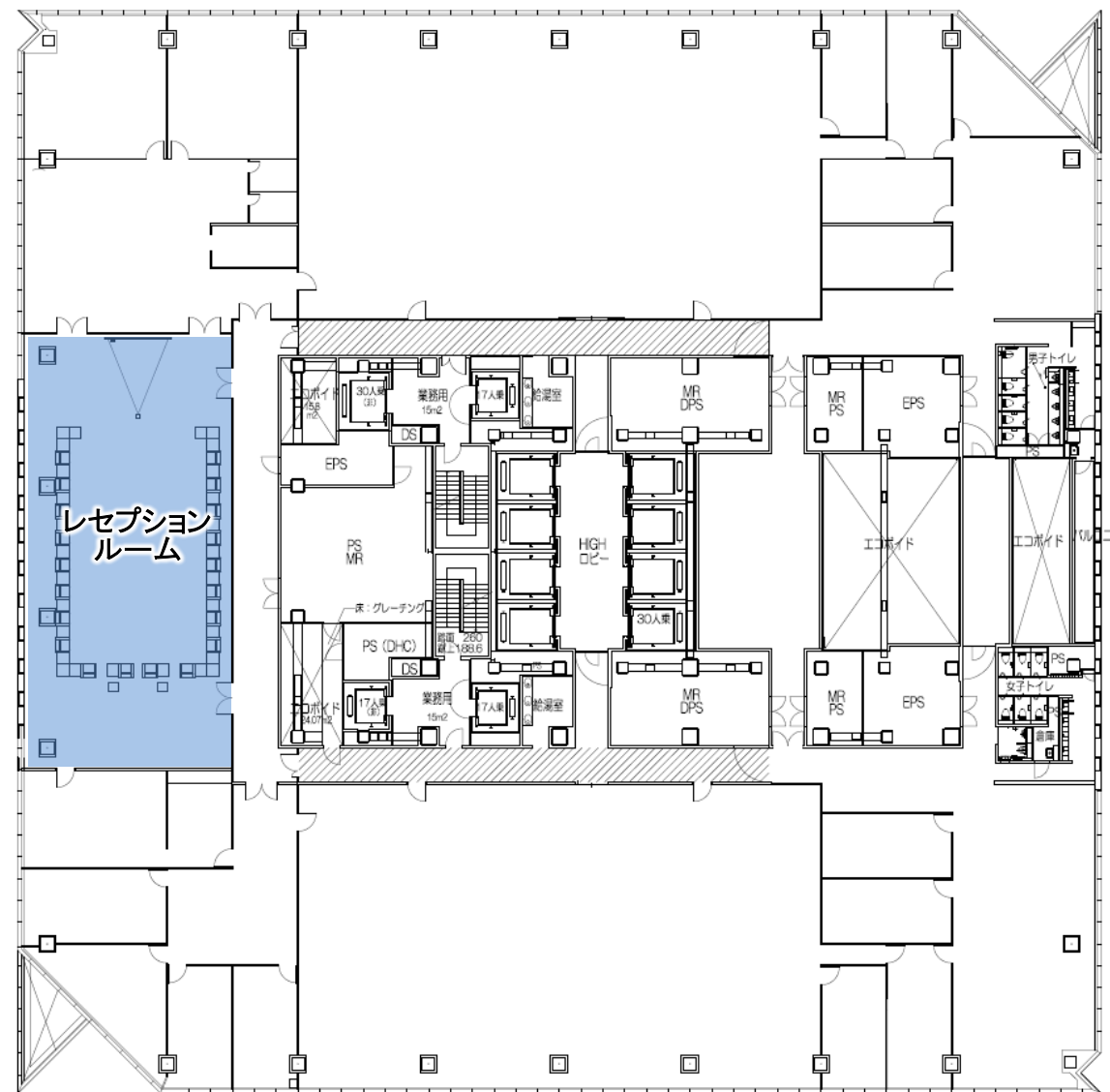


※詳細なレイアウトについては、引き続き調整していきます。

※写真等はイメージです。

レセプションルーム

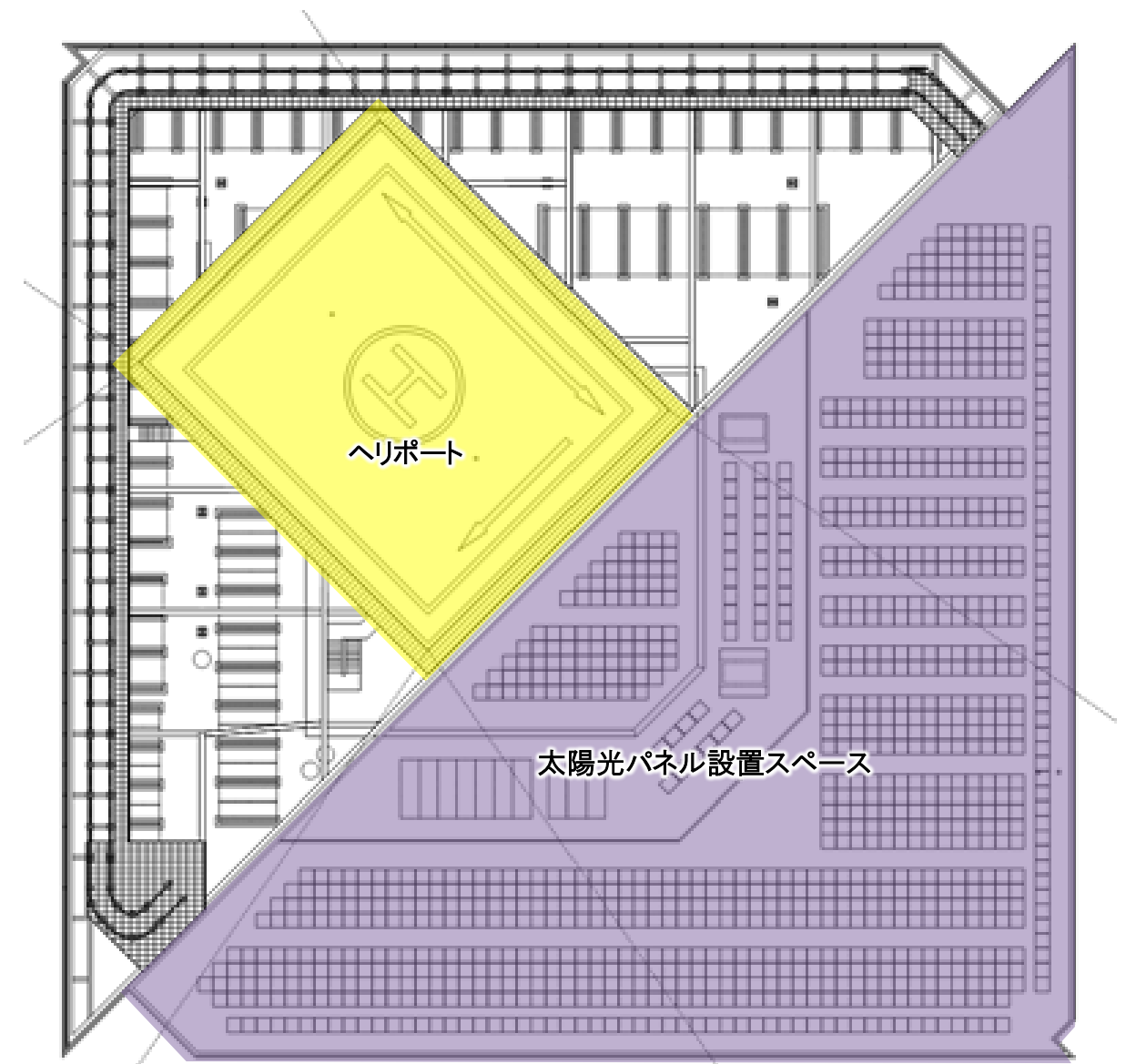
- ① 迎賓対応やセミナーなどにも利用可能なレセプションルームを設置



31階平面図

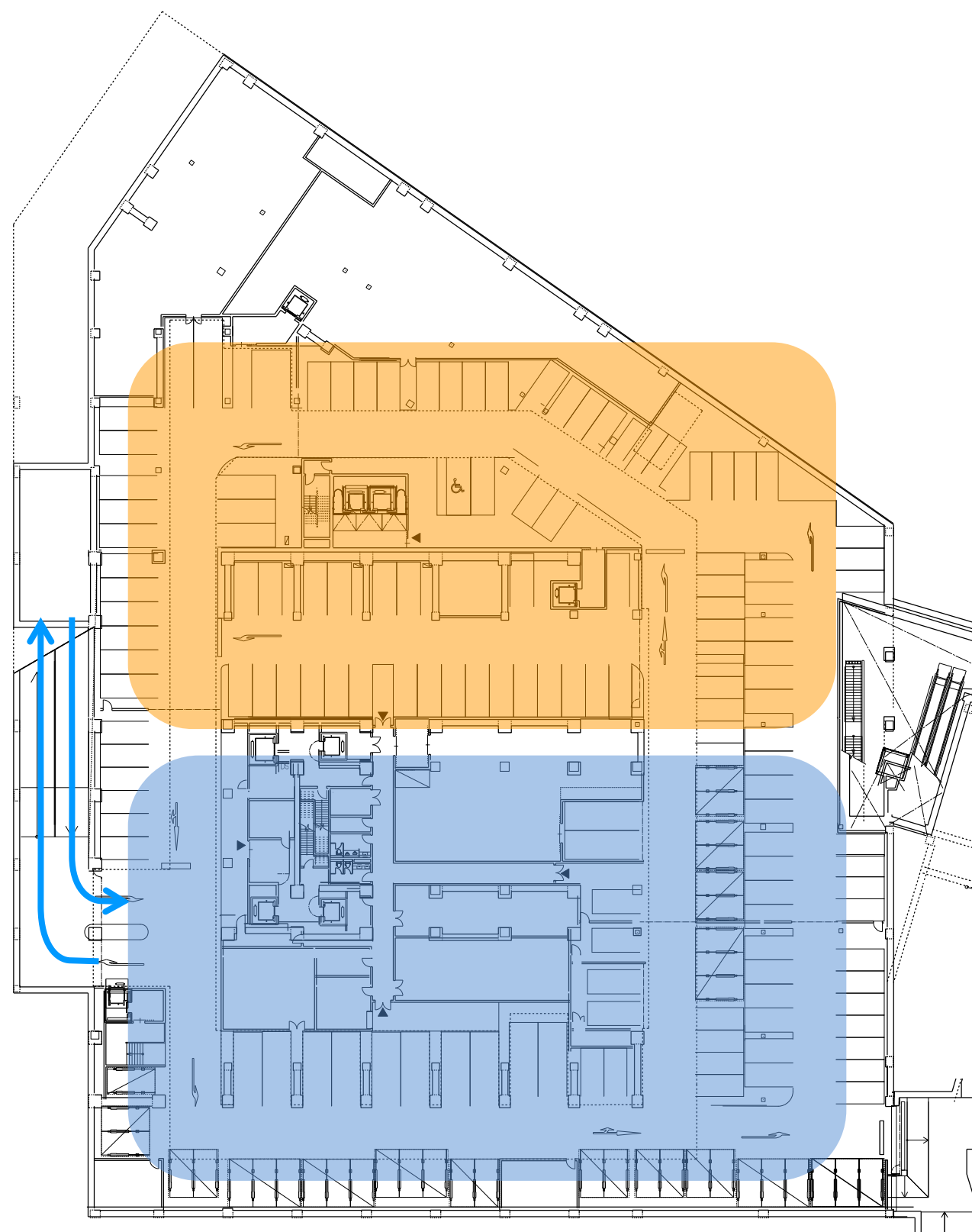
屋上階

- ① ヘリポートは緊急時以外の訓練にも使用可能な場外離着陸場基準で計画
- ② 100kWの太陽光パネルを設置

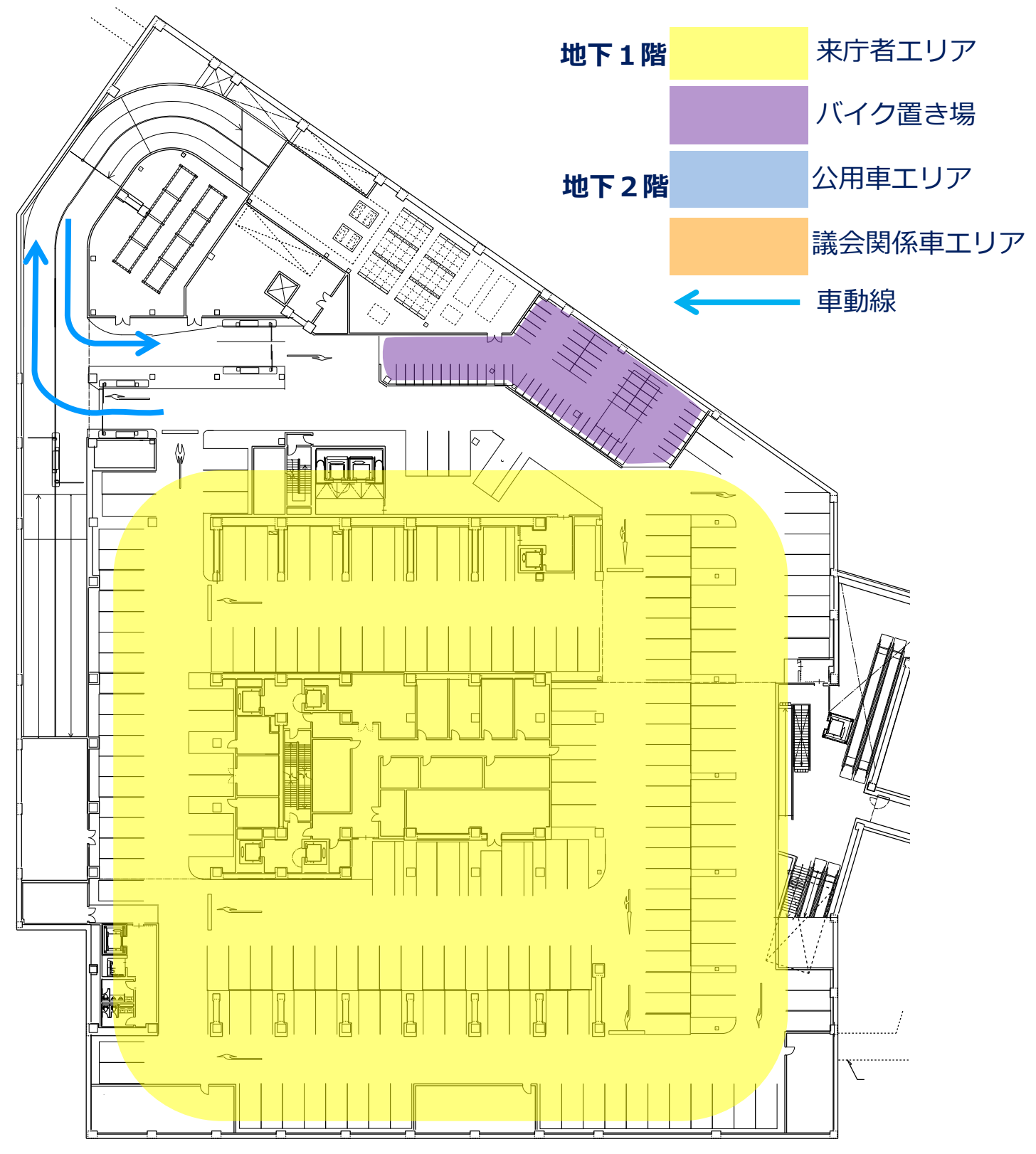


屋上階平面図

※詳細なレイアウトについては、引き続き調整していきます。

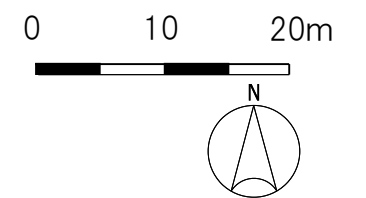


地下2階平面図
(公用車・議会関係車用駐車場)



地下1階平面図
(来庁者用駐車場)

- 地下1階
 - 来庁者エリア
 - バイク置き場
- 地下2階
 - 公用車エリア
 - 議会関係車エリア
- 車動線



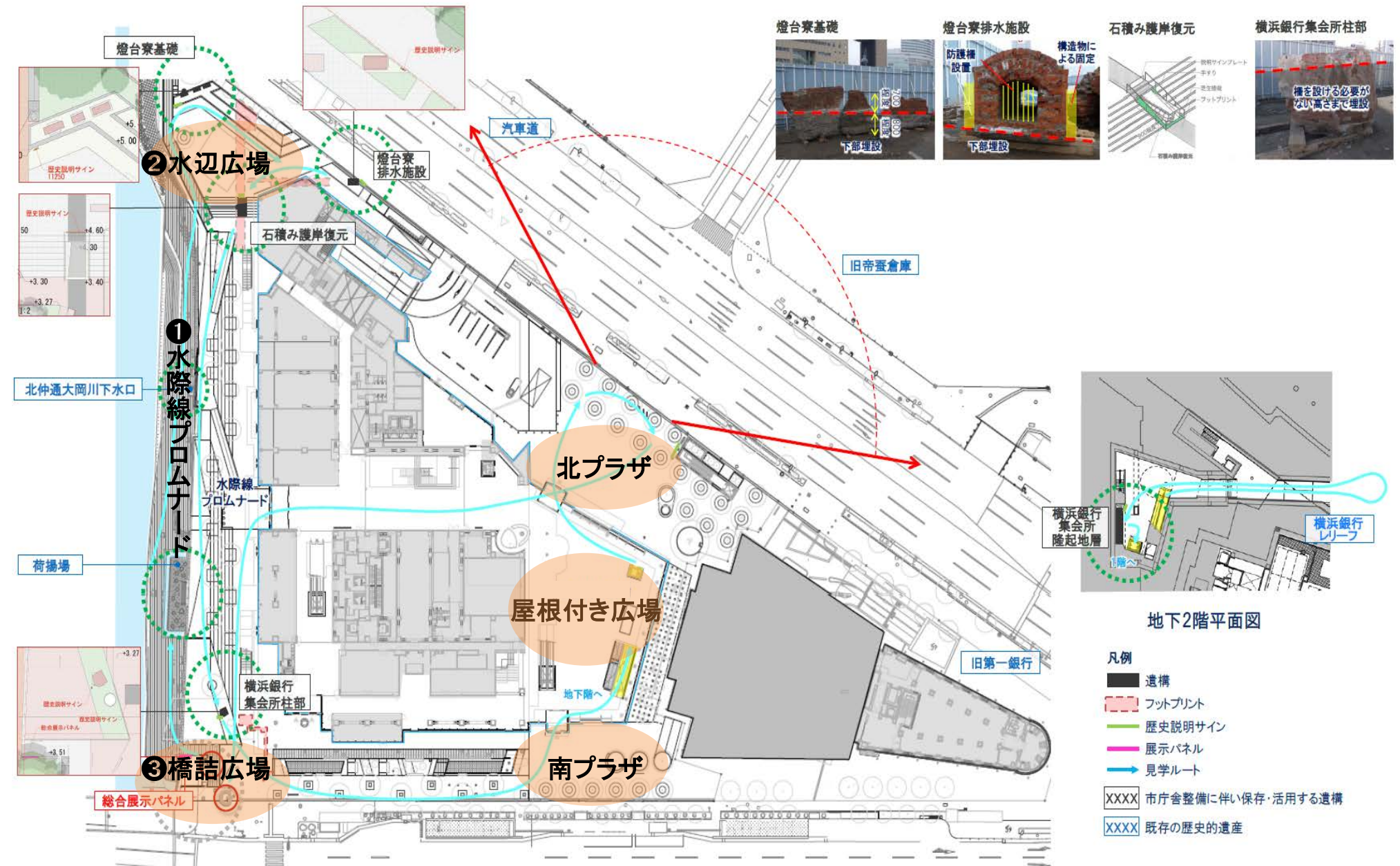
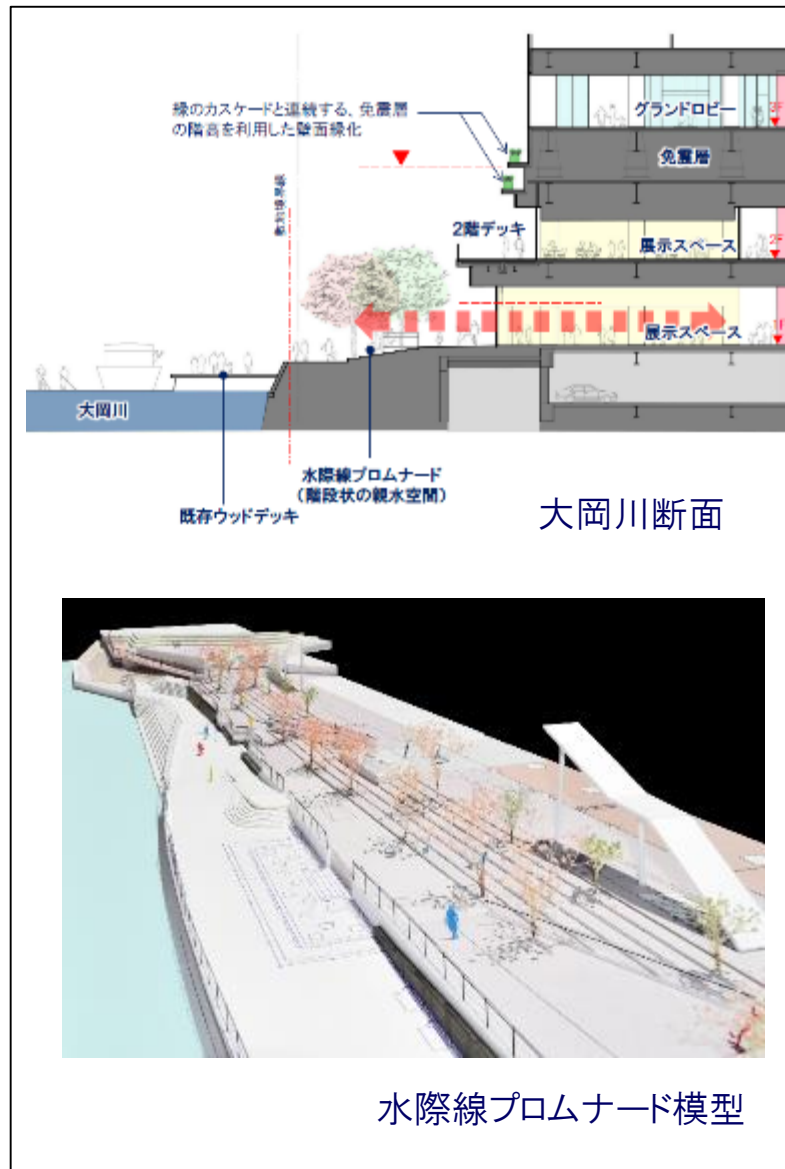
※具体的な駐車台数については、引き続き調整していきます。

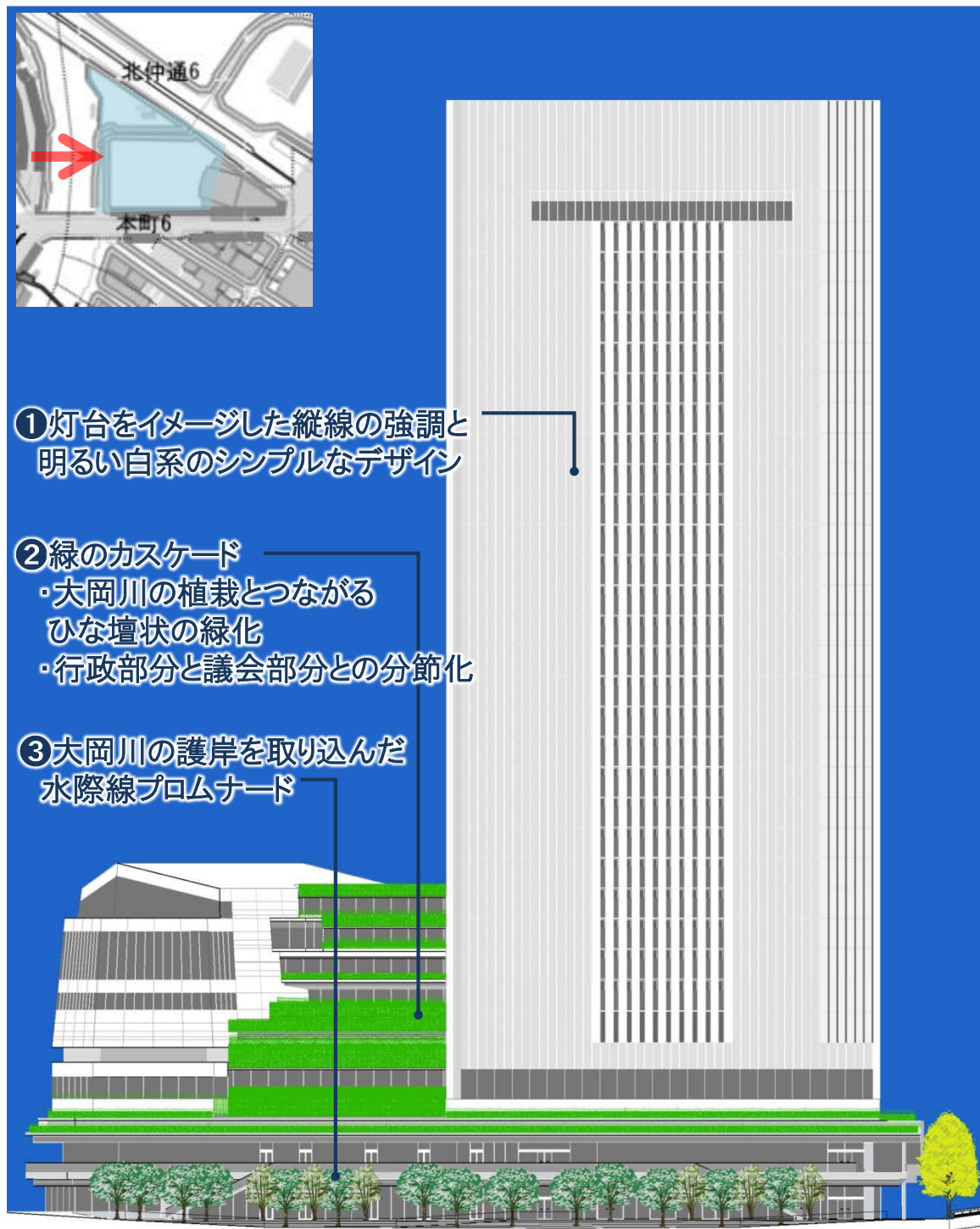
みなとみらい線馬車道駅と接続する屋根付き広場（アトリウム）を中心に、大岡川の水辺環境と連続する低層部の賑わいを創出します。

①水際線プロムナード、②水辺広場、③橋詰広場を整備しプロムナードには桜を中心とした植栽を行い桜並木で市民に親しまれる大岡川との親水性を演出します。

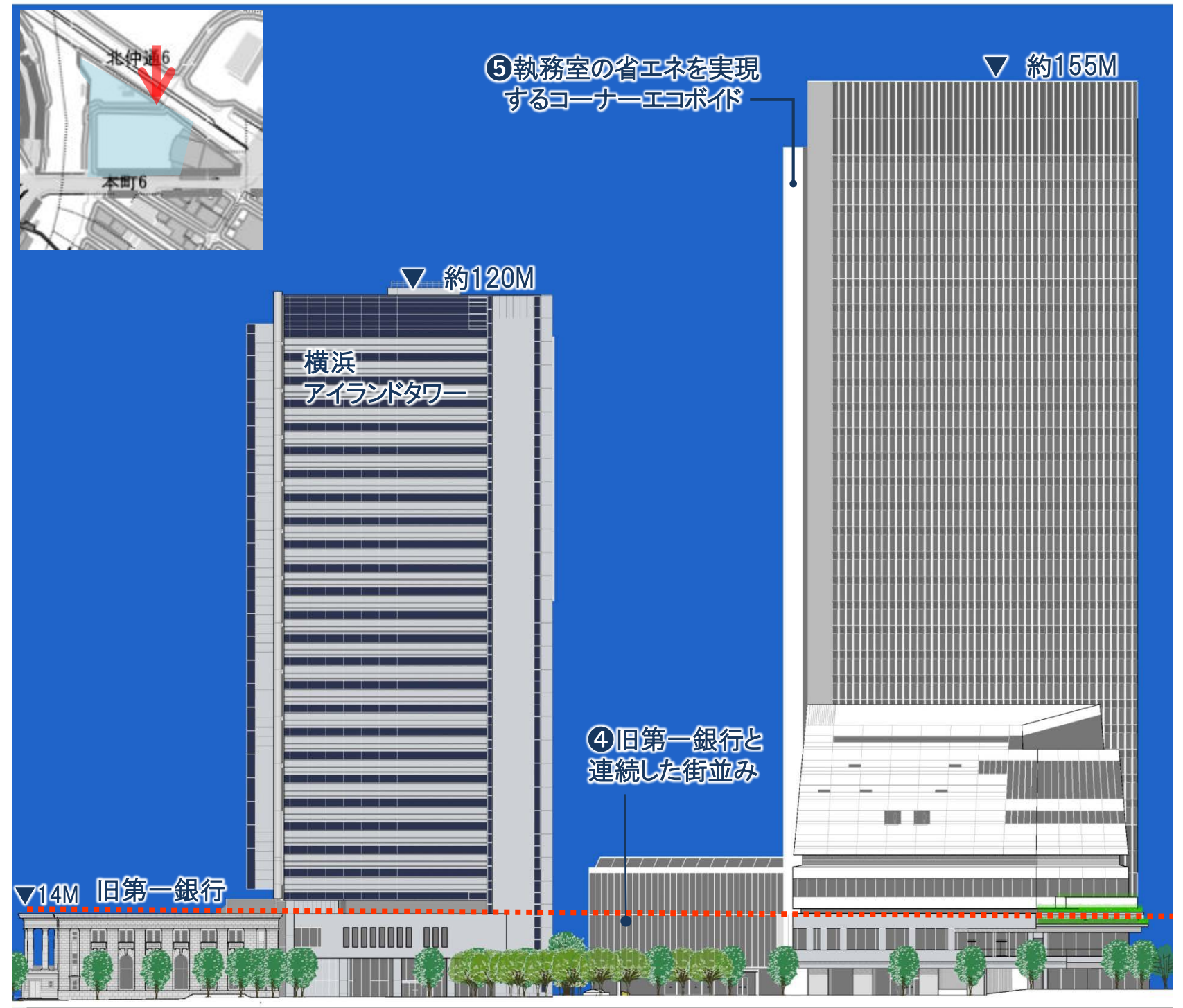
埋蔵文化財発掘調査で出土した遺構の一部を新市庁舎の外構材料として再利用や展示を行います。

展示にあたっては、遺構の説明とともに「開港のまち」として発展した横浜の歴史も紹介する計画です。





西側立面図



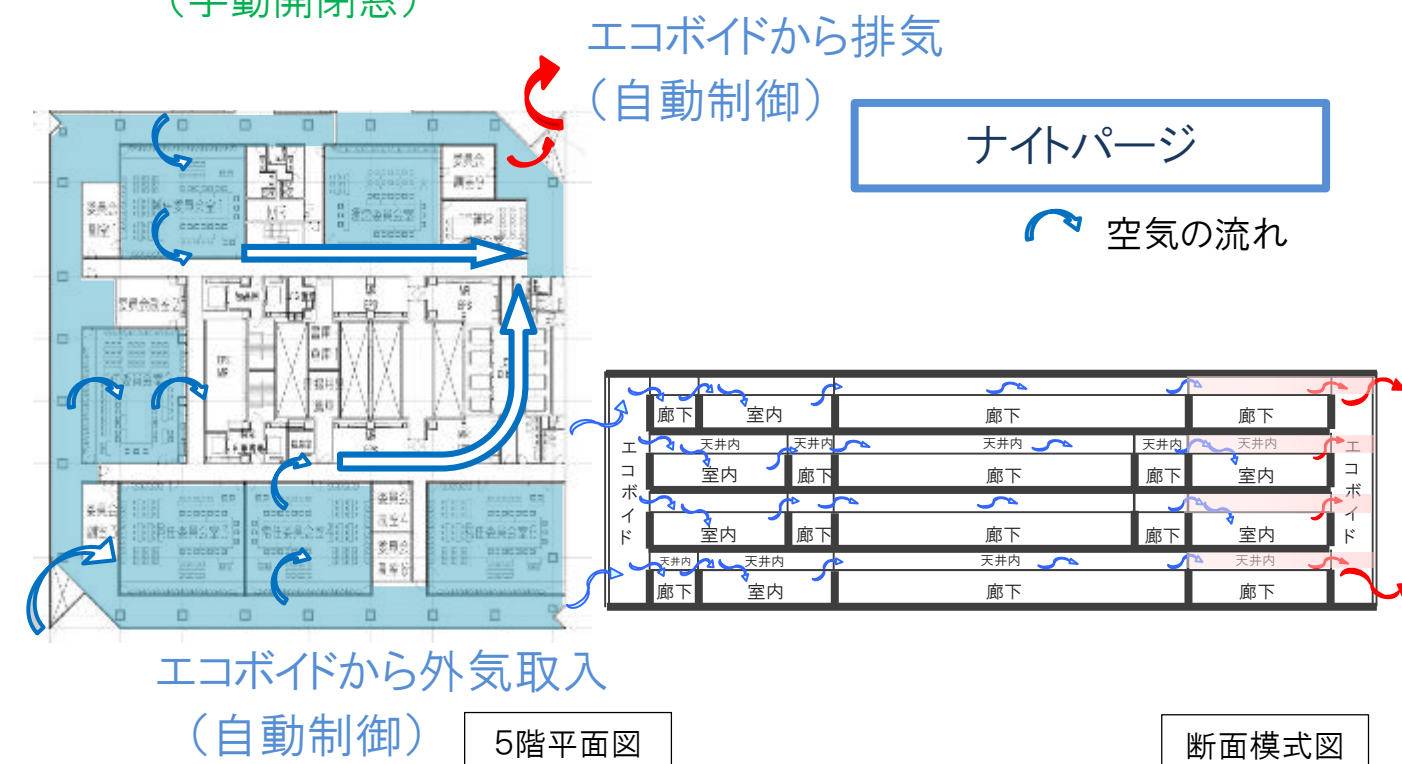
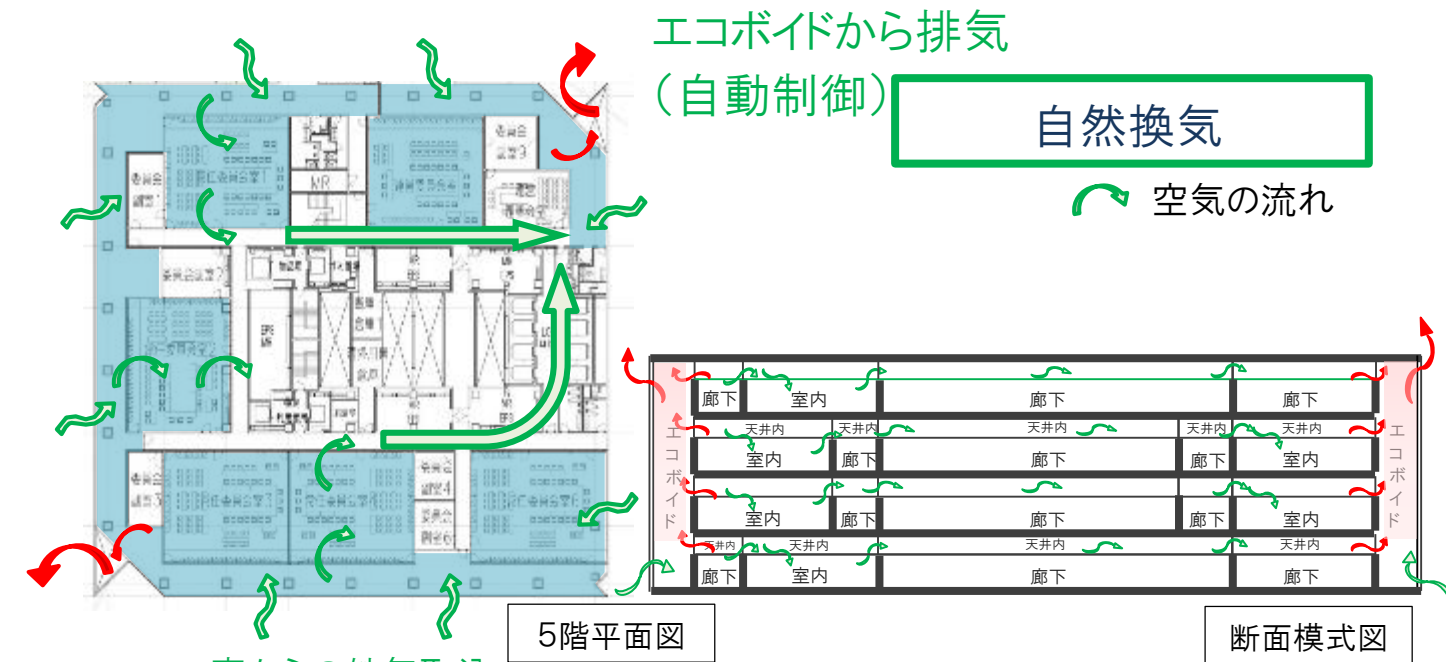
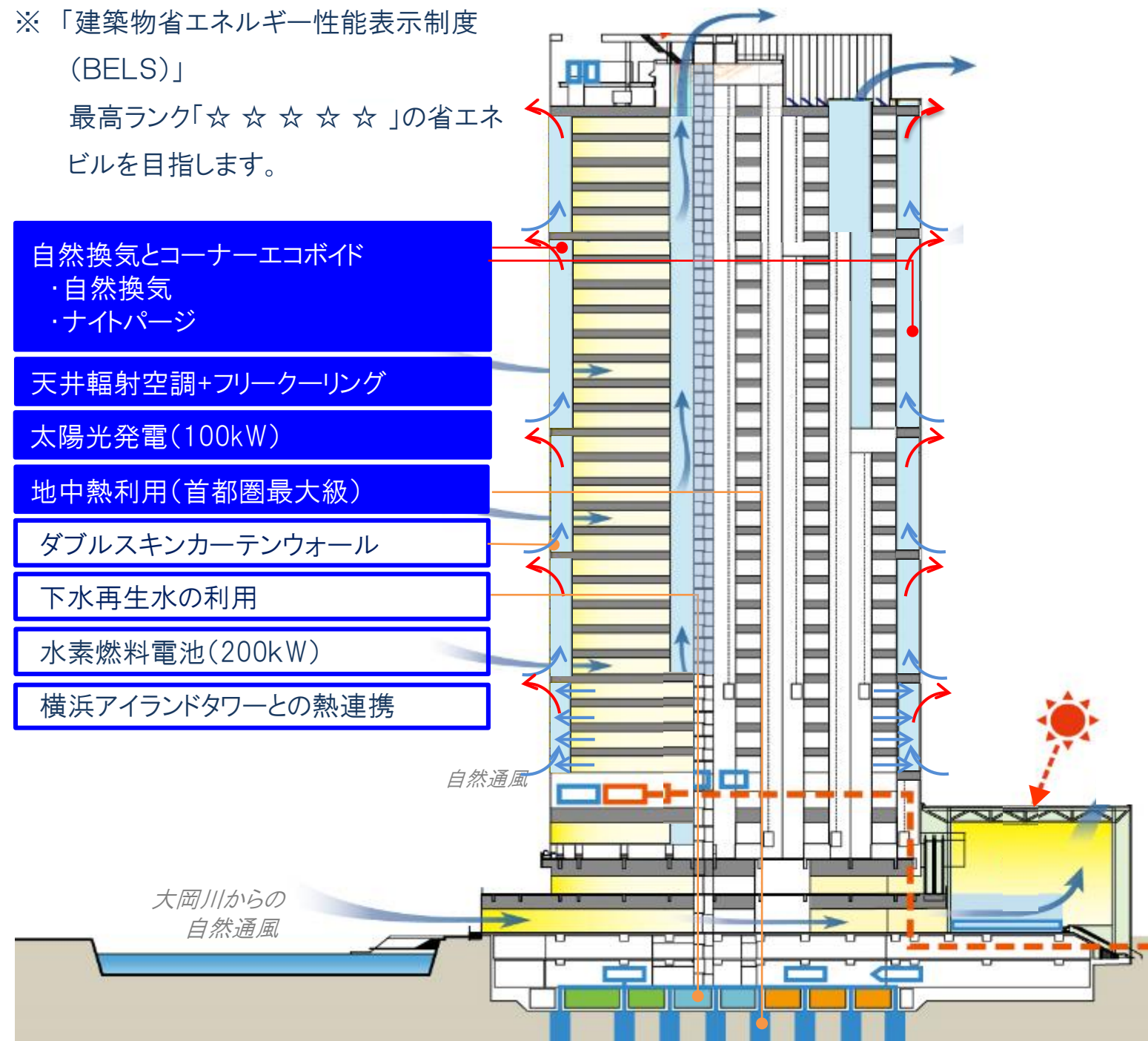
北側立面図

環境に最大限配慮した低炭素型の市庁舎

- ①積極的な外気活用や高効率機器により最高ランクの省エネビル(エネルギー削減50%以上)を目指す
- ②窓から外気を取込むことで中間期(春・秋)の空調負荷を低減し、夏期夜間の建物内の熱だまりの解消を行う(執務環境向上)

※「建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)」
最高ランク「☆☆☆☆☆」の省エネビルを目指します。

- 自然換気とコーナーエコボイド
 - ・自然換気
 - ・ナイトパージ
- 天井輻射空調+フリークーリング
- 太陽光発電(100kW)
- 地中熱利用(首都圏最大級)
- ダブルスキニングカーテンウォール
- 下水再生水の利用
- 水素燃料電池(200kW)
- 横浜アイランドタワーとの熱連携



様々な危機に対処できる危機管理の中心的役割を果たす市庁舎

①国内最高ランクの耐震性能

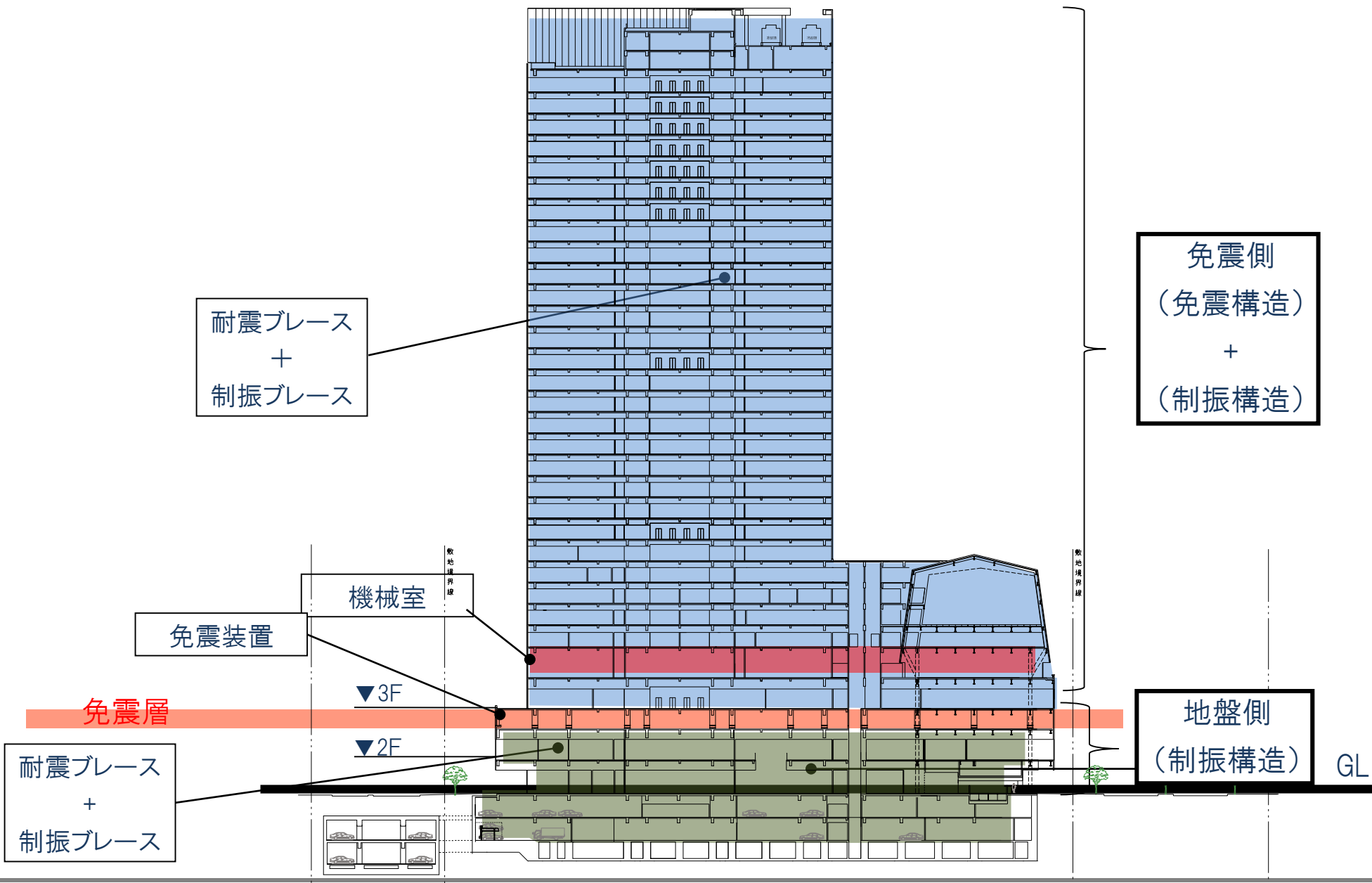
・免震構造と制振構造を組合せ、震度6強から震度7程度の大地震や長周期地震動に対しても業務継続が可能

②BCP機能

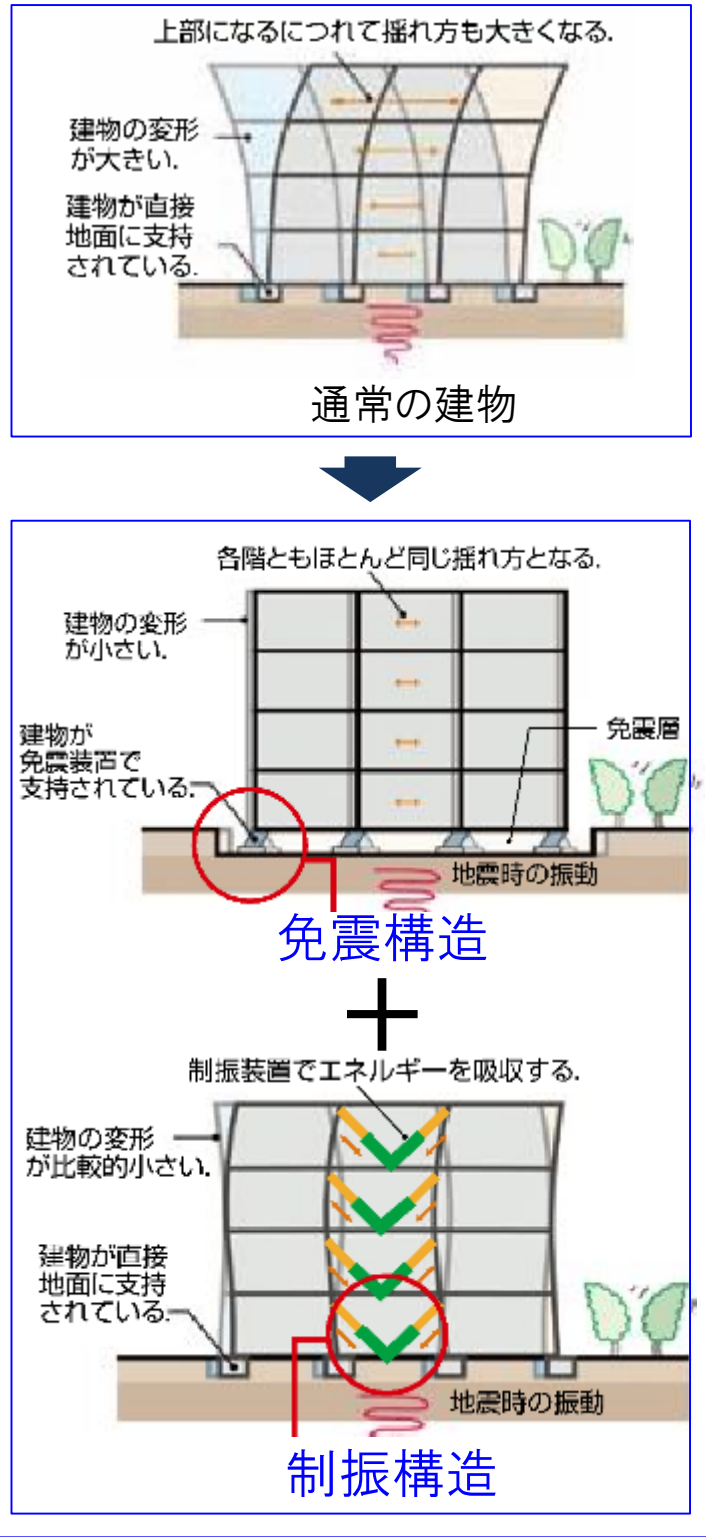
・災害時の飲料水・便所洗浄水、停電時の非常用発電機による電源を7日分確保
 ・津波対策として機械室を4階に設置

③地震・構造モニタリングシステムの導入

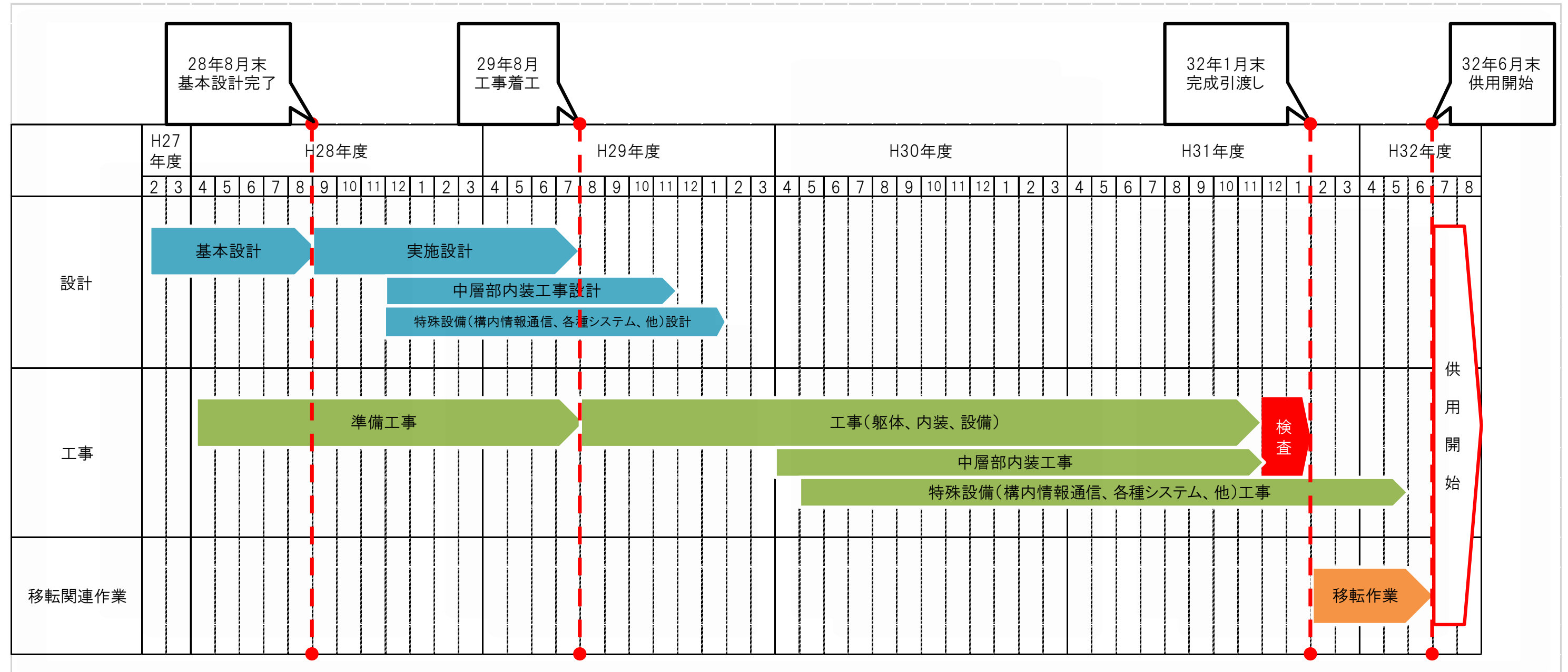
・緊急地震速報を活用した地震到達前のエレベーター制御
 ・各階のセンサーが建物の揺れを感知し、蓄積したデータを建物の維持管理に活用



ハイブリッド免震建築物(今回の建物)



供用開始までのスケジュール




主な公共施設の整備状況について


■ 金沢区総合庁舎改築工事（中央棟・公会堂棟）

構造・規模	現状と予定
第2工区（中央棟） RC造 地上2階 延床面積：約1,000㎡	H29：工事中 ※H30年度末頃供用開始予定 
第3工区（公会堂棟） SRC造一部S造 地上5階 延床面積：約4,400㎡	


■ 港南公会堂及び港南土木事務所整備事業

構造・規模	現状と予定	
RC造一部S造・SRC造 地上4階 地下1階 延床面積：約5,700㎡	H29：実施設計中 ※H32年度末竣工予定 ※既存旧区庁舎建物の解体工事中	

■ 寿町住宅（仮称）建替工事及び寿町福祉会館（仮称）整備工事

構造・規模	現状と予定	
RC造 地下1階 地上9階 延床面積：約7,700㎡ 《市営住宅80戸／福祉会館》	H29：工事着手予定 ※H30年度末竣工予定 ※3定にて契約議案を提出予定	

■ 日野公園墓地納骨堂（仮称）新築工事

構造・規模	現状と予定
S造一部RC造 地上1階 地下1階 延床面積：約1,500㎡ 《自動搬送式納骨施設6,500基》 《合葬式納骨施設20,000体》	H29：工事中 ※H30年4月供用開始予定 

■ 学校

工事名	構造・規模	現状と予定
子安小学校移転新築工事 （第1工区、第2工区）	RC造一部S造 地上4階 延床面積：約15,600㎡	H29：工事中 （H30年4月開校予定）
みなとみらい本町小学校 新築工事	S造 地上4階 延床面積：約8,000㎡	H29：工事中 （H30年4月開校予定）